

◆【全国発信記事】九州関門地方支部

大分県立海洋科学高等学校で進路ガイダンスを開催

7月9日、九州関門地方支部は、大分県立海洋科学高等学校からの出席依頼を受け、企業参加型の進路ガイダンスに参加し、将来の職業選択肢に船員職業も視野に入れている生徒たちに、海の魅力、船の魅力を伝えた。

進路ガイダンスには、海洋科や専攻科で学ぶ生徒116人と保護者も参加し、興味のある企業などの担当者から説明を受けて進路を決める参考にした。

参画したのは船会社をはじめとする計11の団体で、生徒と保護者に事業内容や業界の状況、特色などを説明した。

本組合・九州関門地方支部のブースでは、はじめに全日本海員組合の紹介をした後、わが国における船と船員の存在意義として、多種多様な船舶が諸外国との貿易を通じ、国民の日々の豊かな暮らしと産業を支えるため、常に経済の最前線に立つ役割を担っていることを伝えた。また、海上輸送の第一線で働く船員ならではの講話を交え、船員職業の魅力をアピールした。

船員職業を取り巻く環境については、主に内航船員数の推移や年齢構成の実態データを踏まえ分析し、船員の高齢化や後継者不足が喫緊の課題となっていることと併せて、この進路ガイダンスに参加している生徒たちが、次世代の海運・水産産業の仕事をすることで国と国民を支える重要な役割を担ってほしいと伝えた。

【参加した生徒の質問】

- ▽乗船中に一番苦労することは何か。
- ▽乗船中はどのような食事が出てくるのか。
- ▽24時間運航する船舶の労働時間はどのような仕組みになっているのか。
- ▽卒業生から要員不足で長期乗船となったことがあると聞いたが、休暇を取得できるか心配している。
- ▽組織船と未組織船ではどのような違いがあるのか。

などの質問があり、丁寧に受け答えするとともに、船員の仕事に关心を持つ生徒が多いことを実感した。

九州関門地方支部は、次世代を担う多くの若者たちに海の素晴らしさや船の魅力を伝え、将来の職業として船員を選んでくれるよう活動を展開していく。